

位置 *Location*

東経144度13分から36分、
北緯43度23分から42分の地点
標高102.7m(役場前)

弟子屈町は釧路・根室連携地域の北部内陸に位置し、西北面は高峻なる山脈をもってオホーツク連携地域に接する。東は根室高原、南は標茶町を経て釧路湿原へとつながる。

広さ *Territory*

東西:28.8Km
南北:31.0Km
面積:774.53Km²

気象 *Weather*

平均気温(※)
夏:17.7℃、冬: -6.7℃(弟子屈地区)
夏:17.7℃、冬: -8.2℃(川湯地区)

一般に冷涼な気候で年間平均気温は5.0℃。初雪は11月上旬、降雪量は50～100cmと比較的少ないが、その分寒さがきびしい。12月から3月までの平均気温はすべて氷点下である。そのため土壌の凍結が著しい。だが、冬期は大平洋側の天候に準ずるため、概して晴天の日が多い。

(※平成22～25年までの平均気温)

地勢 *Geography*

千島火山帯に属する本町は、世界有数の規模を誇る屈斜路カルデラと、その東側の摩周カルデラの山麓を含み、その中央を屈斜路湖から発した釧路川が貫き、火山活動によって生じる原始的景観、温泉などに恵まれた風光明媚な土地柄は、まさに国立公園の名に恥じない地域である。地勢はおおむね起伏の多い波状丘陵地にあって平坦な土地は少ないが、山林が約70%を占めるため、森と湖と火山の絶妙な景観を醸し出している。



弟子屈町

